

太陽光発電用あと付基礎金具施工手順(露出防水の場合)

1.適用 この施工手順書は 太陽光発電用あと付基礎金具KPV に適用されます。
施工要領については本施工手順書に基づいて実施してください。

2.仕様 本施工手順書は、RC造の塩ビシートを除く一般的な露出防水に対しての部分防水工法での手順を示すものです。他の防水工法に対する施工手順については別途定めます。

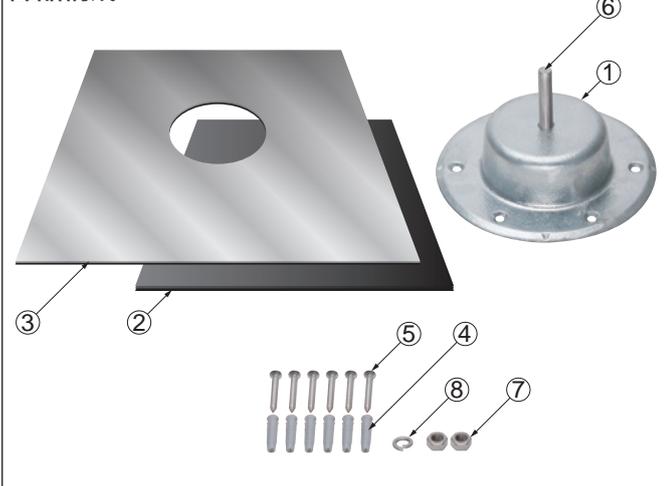
3.使用材料

部番	品名	規格	仕様	商品説明
①	あと付基礎金具	—	ダクタイル鋳鉄FCD500 溶融亜鉛めっきHDZ55	太陽光パネル用架台を支えるための基礎金具
②	下部防水シート	EG3000	非加硫ブチルゴム t=3mm×300mm×300mm	あと付基礎金具の下部に使用する強粘着シート 両面離型紙付
③	上部防水シート	S-20A	ポリエステルネット付非加硫ブチルゴム t=2mm×400mm×400mm	あと付基礎金具の上部に被せる防水シート 片面離型紙付
④	アンカープラグ	φ8×40	ナイロン製拡張固定式	あと付基礎金具を躯体に固定するための部品
⑤	固定ネジ	φ6×50	ステンレス	アンカープラグにねじ込む固定ネジ
⑥	ボルト	M12×60	ステンレス	太陽光パネル用架台をあと付基礎金具に固定するための部品
⑦	六角ナット	M12		
⑧	ばね座金	呼び12		

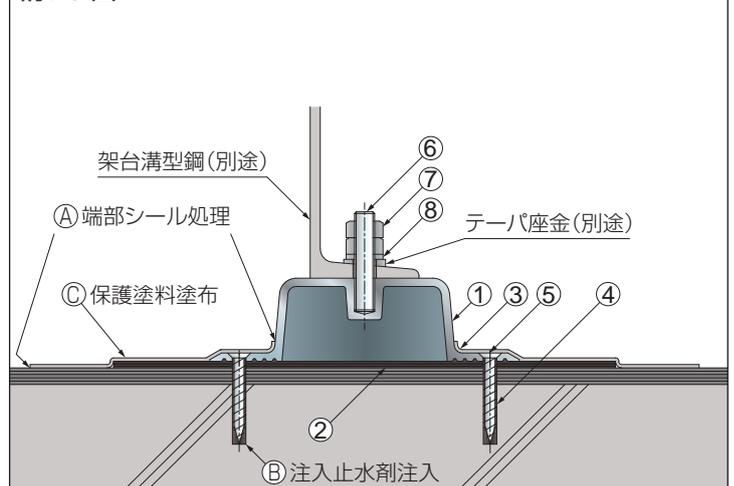
副資材(別売)

Ⓐ	ブチルゴムシート用 接着剤	L	第四類・第一石油類	溶剤系の接着剤で屋上・露出面と防水シート及び防水シート同士の接着剤、防水シートの端部シーリング剤として用いる
Ⓑ	注入止水剤	KN-FL	水膨張性注入止水剤 非加硫ブチルゴム系	防水層貫通穴部に注入し、水の侵入を遮り、漏水を防止するための材料で、非硬化性の注入剤
Ⓒ	トップコート	—	アクリル	上部防水シートの保護・耐久性持続のために必要に応じて塗布使用する保護塗料

部品構成



納まり図



4. 施工手順



屋上・全面を清掃し、必要に応じて高圧洗浄を行う。

あと付基礎金具設置位置を確認の上、墨出しを行う。墨出しは使用する架台の調整可能寸法に基づいた精度で行う。



墨出し後、ブチルゴムシート用接着剤をあと付基礎金具設置箇所に、50cm角程度でローラー・刷毛等で塗布する。(塗布量:0.3kg/m²)

その後1~2時間(気象条件によって異なる)の乾燥時間を設ける。



あと付基礎金具設置箇所に下部防水シートを下面の離型紙をはがしながら貼り付ける。

下部防水シートは貼り直しが出来ないので注意する。また、シート内にエアが入り込まないように注意する。



下部防水シートの上面の離型紙をはがし、①の墨出しに基づき、下部防水シートの上に再度墨出しを行う。



墨出しに金具上のマークを合わせながら、あと付基礎金具を下部防水シート上面に接着させ、固定穴6ヶ所に直径8mm、深さ50mmのアンカープラグ用の穴をドリルで開ける。

穴開けは下部防水シート上面露出部を離型紙等で養生して、集塵を行いながら作業し、穴開け後、穴の中の切り粉は確実に除去する。



穴開け後、各々の穴に注入止水剤を目一杯注入する。

注入止水剤注入後アンカープラグをスラブコンクリート上面に納まるまで確実に打ち込む。



あと付基礎金具をφ6×50の固定ネジ6本で固定する。

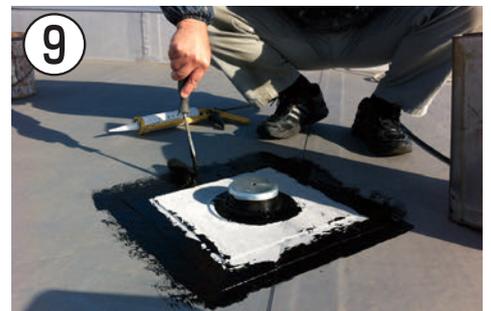
固定ネジの締め込み終了後、アンカープラグの浮き上がりや引きちぎれない事を確認する。

この後、下部防水シート上面の養生材(離型紙等)を除去する。

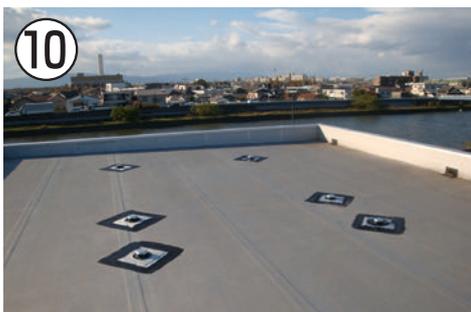


下部防水シートの上面及びあと付基礎金具の表面に、ブチルゴムシート用接着剤を塗布する。

ブチルゴムシート用接着剤の指触乾燥確認後、上部防水シートの離型紙をはがし、あと付基礎金具の上から被せ、シワが出ない様、且つ、エアが入り込まない様貼り付け、ローラー押さえを満遍なく行う。



上部防水シートの四周および中央穴端面に、ブチルゴムシート用接着剤を塗布しシールする。



以上の作業を終えたら現場監督者に連絡・点検のうえ、不備な箇所がある場合は直ちに手直しを行う。



点検が終了したら、最終工程として上部防水シートの表面にトップコート塗布する。(塗布量:0.25kg/m²)



あと付基礎金具施工完了。